

第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会長野県準備委員会 「第 2 回輸送・交通専門委員会」の開催結果について

1 日時

令和 6 年 1 月 22 日（月） 13:30～14:15

2 場所

オンライン会議

主会場：長野県スポーツ会館 2階会議室（長野市大字南長野字聖徳 545-1）

3 構成団体及び出席者

(1) 構成団体

輸送関係団体、県スポーツ協会、県障がい者スポーツ協会、国土交通省 等
30 名

(2) 出席者

28 名

4 委員会概要

〈報告事項〉

(1) 輸送・交通専門委員会委員の変更について

(2) 準備委員会における決定事項について

事務局から一括して報告 → 質疑なし

(3) 輸送・交通基礎調査の結果について

事務局から報告

（委員長）21 ページの「バス車両確保に係る課題及び対応策」について、長野県内のバス台数の 3 割ほどが必要になるとのこと。現時点では、コロナからの脱却の後なんとか輸送力は維持しているが、路線バスの廃止・減便、路線バスの運行のために貸切バスの運転手をまわす等、マンパワーが不足している。両大会開催まで輸送力を維持できるようにしたいと思っている。

国スポの開会式には 400 台以上、全障スポの開会式には 500 台以上という結果になっているが、全障スポの方が台数が多い理由は何か。

（調査受託者）国スポでは、タクシーを利用したり、乗用車で来場する人がいる。しかし、全障スポに参加する選手は、基本的にバスを利用していただくことが多い。国スポよりも全障スポの方がバスの利用割合が高いため、全障スポの方が台数が多い。

（委員長）障がい者の方がどのようにバスを乗降するか、例えば車椅子で乗降が必要な場合は、対応できるバスが必要となる。そういったバスは数が限られるため、専用車両をどのように確保するかも考えていく必要がある。通常のバスであれば、近隣県から借りればよいかもしれないが、車両の特性がある場合はより広い地域から借りることも検討しなければならない。

〈審議事項〉

第 82 回国民スポーツ大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会 輸送・交通基本計画（案）について

事務局から説明 → 質疑なく原案どおり可決

〈その他〉

今後のスケジュールについて

事務局から説明 → 質疑なし